

社団法人静岡県造園緑化協会

# 緑の宝



2000  
新年号  
No.14



南アルプス鳳凰三山越しの富士

## 目 次

新年のあいさつ	P2	シニア・ワーク・プログラム造園緑化講座終了 P7~8
社団法人 静岡県造園緑化協会 会長 西野勢作		「技能五輪しづおか99」造園部門で金を獲得 P8
知事あいさつ	P3	本年度も住宅展と環境フェアに出演 P9
静岡県知事 石川嘉延		静岡県教職員生活協同組合との特約店契約成立 P10
新年のあいさつ	P4	農業高等学校生徒の企業内実習生の受け入れ P10~11
ゆめ未来局長 井口健二郎		現代の名工に市川一氏選ばれる P11
「Nations in Bloom '99」	P5	話題の森・お知らせ・編集後記 P12
剪定枝条処理実態調査結果まとまる	P6	
駿府公園「日本庭園」の石組み見学会を開催	P7	

# 新年のあいさつ



社団法人

静岡県造園緑化協会  
会長 西野勢作

明けましておめでとうございます。謹んで新年のお祝を申し上げます。

今年は、下世紀から二十世紀へと移行する大きな節目の年です。以前からコンピューターの誤作動による不測の事態を予想して全世界で万全の安全対策を備えた中での大変緊張した年越しとなりました。一九九〇年のバブル崩壊以来長引く経済不況により日本はこれからどうなって行くだろうか自分達の仕事はどうなるのかと言った先行きの見えない不安にいらだつているのではないでしようか。国も都道府県も市町村に至るまで大変な負担をかかえ、法人関係の税収は減る一方で危機的経済状況となっている様です。そのような状況下で建設工事への公共投資は相変わらず続いているが、この事だけが今の景気をささえている様に見受けられます。

国债累積依存の公共投資も先が見えて来ました。今ありとあらゆる産業で会社の経営健全化の為に余剰人員の削減、新規採用の手控え、無駄な経費のさつめ等々あらゆる知恵を出しております。現実は血の出る様な受注競争の中にはあって過当競争による利益の低下は大変深刻なものがあります。企業間の格差はますます広がるものと思います。年を追うことに高齢化、少子化が進み、四月から財源の裏付けがないまま介護保険が見切り発車いたします。こうした社会情勢を踏まえて協議

会は高校生の現場実習、退職者を対象としたシティ教育を行つてきました。今後の社会要請に応える大事な事だと思います。

今地球規模の視野で見ると人口増加による食料の供給量の問題、これからもっと進むであろう地球の温暖化、環境や自然の生態系の変化等、こうした問題と今とは真正面から向き合う事になると思います。この様な環境の変化を的確にそしめて敏感にとらえ、取り組むよう自分の仕事の守備範囲を越えた勉強が必要になって来るだろうと思います。私達の仕事は、広い範囲の知識、技術を必要とする仕事です。御承知の通り第二東名、静岡空港そして大きなイベントが重なり合つて大規模な工事の発注も多く見られるようになりました。財政の逼迫した中で経費は極端に止められ、自分さえよければ、自分達さえよければといったエゴの意識は工事量の減少に伴つてかたくなるものになるのではないかと懸念しています。

資本主義から民主主義へと変わった今、資本の力だけでは通らない時代になつたと思います。尊い税金を使つた仕事ですからその成績品の良し悪しは相当にびしく評価される様になると思います。それと同時に付加価値のある果実が高い評価を受け、こうした感性をも含めた技術がなければ、いずれ淘汰され二十一世紀を生き残れないものだと思います。私達業界のみならず、いすれの業界も共生共榮の時代は終り今年からもっと多くと大差なく淘汰の時代になると思います。こうした経過を通り需要供給のバランスがとれた時、共生と調和のとれた時代が来ると思います。もうそんなに遠い話ではない様に思います。

今では、里山の松は需要がなく、竹材も輸入品やプラスチック製品に押されて竹材は荒れぼうだ。邪氣、悪魔を追い払い、その年の繁栄を願う松を刷りした紙を玄関の両側に貼つてそれに代えた。

今は、里山の松は需要がなく、竹材も輸入品やプラスチック製品に押されて竹材は荒れぼうだ。邪氣、悪魔を追い払い、その年の繁栄を願う松を刷りた紙を玄関の両側に貼つて、里山を救おうではないかと思います。

会員の皆様方には将来を見据えた広い視野に立つて、一層の御協力をお願い申し上げます。関係官庁の皆様にはあたたかい御指導と御支援を切にお願い申し上げまして、この大変な時局を乗り切りたいと思います。

皆様の御多幸と御発展を心よりお祈りして新年の御挨拶といたします。



本年も県庁正門に門松を贈呈させていただいた。それを始めて今で十余年目になります。

門松

松

# 「大交流時代を拓く」



静岡県知事

石川嘉延

明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、それぞれ新年への抱負も新たに、西暦二〇〇〇年という大きな節目の年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

現在、我が国は、厳しい経済環境の下で、様々な面で社会のあり方を大きく変えようとしています。二十一世紀は、「人、もの、情報」が地球規模で活発に行き交う「大交流時代」といわれています。こうした中で、静岡県が、その魅力を一層高め、内外の人々から愛され、世界に誇りうる地域となるよう、県民の皆様とともに、未来の可能性に積極的に挑戦していくことを決意を新たにしております。

このため、本年は、「交流人口の増大」「ユニバーサルデザインの普及」「本家・本元づくり」を目標に掲げ、活力にあふれる静岡県づくりに向けて、施策展開を図つてまいることとしております。

まず、大交流時代の幕開けにふさわしいイベントとして、一年間にわたって伊豆半島全域を舞台に、「伊豆新世紀創造祭」を開催し、生まれ変わる観光

リゾート地・伊豆の魅力を国内外に向けて情報発信してまいります。

また、四月には、浜松市に学術・文化と産業発展の核としての役割を担う「静岡文化芸術大学」の開学、八月には、県内各地で高校生が主体となって運営する全国高等学校総合文化祭の開催など、次代を担う若者が将来の夢や希望を育み、活躍する機会を提供してまいります。

一方、豊かな県民生活や活発な経済活動に不可欠な静岡空港や第二東名自動車道などの交流基盤の整備をはじめ、「二十一世紀を担う人づくり、少子化対策と長寿社会を支える仕組みづくり、がんセンターの整備など生活に身近な福祉・医療水準の一層の向上や、本県の活力を支える新たな産業の育成、豊かな自然を守る環境対策の推進などの施策も着実に推進してまいります。

財政環境は引き続き厳しい状況にありますが、生産性の高い行政財政運営に努め、世紀越えにふさわしい施策を積極的に推進し、大交流時代に、住む人も訪れる人も心から快適さを実感できる「快適空間しずおか」の実現に向けて全力を傾注してまいりたいと考えております。

皆様の一層の御理解と御協力をお願い申し上げますとともに、御健康と御多幸を心からお祈りし、新年のごあいさつをいたします。

平成十二年元旦

## フクジユソウ

「元旦草」の別名を持つ正月の代表的な花。

しかし、「元旦草」といつても旧暦のことと、自然界での開花は二、三月頃になる。

分布は日本全土だが中部以南では少なく、「静岡県植物誌」によると県内では富士山、梅ヶ島、水窪、佐久間に分布していたとあるが、今まで見かけない。

フクジユソウは、一見、菊のようだがキンボウゲの仲間の宿根草。フキノトウのような蕾をもち上げ、菊そっくりの黄金色の花を開く。しかし、菊よりどこか艶やかだ。

雪国では雪解けを待ちかねたようにならに咲く。それなりに雪解草でなく福寿草、どんな人が命名したのだろうか。



# 新年のあいさつ



県生活文化部ゆめ未来局  
局長 井口健二朗

井口健二朗

新年あけましておめでとうございます。本年は二〇〇一年という時代の大きな節目の年であります。本年は二〇〇一年という時代

皆様にとって輝かしい一年となりますよう心からお祈念申し上げます。

花 緑 水

「新たな暮らしの創造」

これは二〇〇四年に浜松市内地区において開催する、すなはち国際園芸博覧会「パシフィックフローラ」二〇〇四の開催テーマです。

この博覧会は、造園緑化協会の機関誌「緑の会」をまさに具現化し、花や緑のある豊かな生活を多くの人々に提案しようとするイベントです。

今日、広い分野で技術革新が展開され、人類の夢が次々と実現していく一方で、身近な、そして貴重な自然を新たな視点から見直し、人と自然の関わり方を真剣に探り、実践する時代、それが二十一世紀であると言われています。古くから、私たちは、身近な花や緑から様々な恩恵を受けてきました。花や緑には、時代を超えて私たちを魅了する不思議な力が満ちています。

花や緑の大きな活力こそ、調和のとれた豊かな文明を実現する鍵になるものと考えます。園芸博覧会は、このような基本理念のもとに、自然との共生を図った二十一世紀にふさわしいライフスタイルを提案する舞台となり、真に豊かな暮らしの出発点となることを目指して、サテライト会場の設定など全般的なつながりも視野に入れながら開催準備を進めています。

水 大地 緑

博覧会場は、観客が花や緑を楽しみながら、安らぎや潤いを感じる空間として、水、大地、緑を骨格とし、整備します。浜名湖の美しい自然に囲まれた湖畔の特徴を最大限に活かし、多数の観客が訪れてくるような魅力的な会場づくりを目指しております。

会場配置は、「街」「里」「浜」エントランスの四つエリアを設定しており

ます。

街のエリアでは、レストランや店舗などの賑わいのある路地空間、また戸建住宅を中心とした花・緑・水を取り込んだ美しい街並を展示し、多様な花による立体的な花壇を配置するなど華やかに演出します。

里のエリアでは、懐かしい風景の中で、古典植物など、田園風景植物の集大成を展示します。庭園展示は、海外出展園など、国内出展園庭園として個性のある庭園を開設します。そのまわりは、それぞれの庭園が引き立つよう樹種で修景するほか、広がりのある芝生や高木を植栽します。

浜のエリアでは、親水広場を配置するほか水生植物や湿生植物を配置するなど湖畔会場としての特徴を生かします。また、会場中央部に東西水路を設け、水辺の風景を演出します。

一方、主要施設としては、主催者によるテーマ展示や能事を行う「チマ館」、コンテストをはじめ多様な展示、イベントを行なう「国際展示ホール」、日本が世界に誇るべき穀穀や園芸文化・技術などを展示する「園芸文化館」、音楽イベントをはじめ各種開催行事を行なう「屋外ステージ」、そして様々な出展展示を行なう「パビリオン群」などが配置されます。

会場整備にあたりましては、博覧会終了後も、浜名湖地域の新たな拠点となる公園として存続していくことが望ましいと考えていますので、将来的のこととも見据えながら整備を進めていきます。

二〇〇四年二月の開幕を目指し、昨年十一月には安全祈願祭も済ませ、会場整備工事環境施工事務監査などを島基建設の工事に着手いたしました。

十二年度以降は、修景工事、展示工事など会場づくりのはかチマ館、

園芸文化館などの施設の建築も進めてまいります。併せて、博覧会への出展勧奨、行動計画、植物調達管理など、アート面での準備も急ぎ進めています。

開催期間は二〇〇四年三月から十月までの約二〇〇日間を予定し、来客は五〇〇万人を目指して設定しております。博覧会を成功させるためには、人々に強い興味を引きうける特徴のある魅力的な会場づくりと個性的で充実した展示や様々な仕掛け、交通計画などが大切であります。が、同時に広く県民参加や関係者の協力が何よりも重要であると考えております。ゆめ未来局では浜松市との協力、連携のもとに県民のご意見も伺しながら観意開催準備にまい進したいと思いますので、社会法

よりお願い申し上げます。

# タツナミソウ



本年はたつ年。賀状には想像の動物が描いてあって、海魚のタツノオトシゴが描いてたり、たりするが植物が描かれているはない。

植物図鑑を検索すると頭に「リュウウ」のつく植物は产地「琉球」をつけて名前をつけることが多い。そのうちの一つの方は二種のみ。そのうちの一種「タツナミソウ」は林縁や野原の少し湿気のある所に生える。しそ料の多年草で、山野草愛好家の仲間では栽培もされている。

五六月頃、茎の先端に多数の同じ方向を向いた紫色の唇状の花を二列並んで咲かせる。花がみな同じ方に向いて咲くさまを波のよせるのに見たてて立浪草とよんだといわれる。



## 花と緑のコンペティション

# 「Nations in Bloom '99」

(ネイションズ・イン・ブルーム)

2000年2月、浜松で開催。世界15か国32都市が参加

協会も委員会の一員であるネイションズ・イン・ブルームの実行委員会が、十月二十六日、アク

ト浜松研修交流センターで開催され、以下、浜松市から投稿いただいたような事業内容が決定されました。

事業のあらまし

この事業は、都市の景観の向上、文化遺産管理、環境保護、コミュニケーションの開拓、将来計画をテーマに、都市づくりを行うことを趣旨とするもの。

浜松市は、アラブ首長国連邦で開催された最終審査会において、最優秀賞及び部門別の特別賞をダブル受賞しました。

二〇〇四年には、浜名湖畔で「しづおか国際園芸博覧会」、そしてFPIRA国際公園レクリエーション管理行政連合世界大会も予定され、これらの方程式として実施するものです。

○期間／平成12年2月10日(木)～14日(月)

○会場／アクシティ浜松コングレスセンター、展示イベントホール

○内容／最終審査会、花と緑のシンボジウム、ガーデニング・フェスティバル、参加都市パネル展示コーナー、生け花・盆栽コーナー

○参加都市／32都市(15か国)。日本から下田市(静岡県)、大津市(滋賀県)、宮崎市(宮崎県)の3都市が参加

○主催／IFPRA・Nations in Bloom運営本部、Nations in Bloom'99実行委員会

○内容／参加都市を写真パネルにより紹介

## 事業内容

◆生け花・盆栽コーナー

○期間／2月10日(木)～13日(日)

○会場／コンクレッセント13会議室

○内容／日本の伝統文化の生け花、盆栽の展示紹介。お茶席による交流コーナー

○協力／静岡県西部花き小売商協同組合(生け花、盆栽、茶道愛好グループ)、議室

## 1 最終審査会

○会場／コンクレッセント12会議室、22・23会

○内容／参加都市による発表と最終審査会、受賞都市の表彰。発表の使用言語は英語

○期間／2月11日(金)～13日(日)  
○会場／コンクレッセント12会議室、22・23会  
○内容／参加都市による発表と最終審査会、受賞都市の表彰。発表の使用言語は英語

## 2 関連事業

◆花と緑のシンボジウム

○期間／2月13日(日)、午後1時30分～3時

○会場／コンクレッセント12会議室

○内容／東京農業大学 平野侃三教授(農学博

士による基調スピーチと同教授とジャズボーカリスト、鈴木重子による花と緑の対談、花と緑を歌ったナンバーの披露

○定員／400人

TEL／053(四五七)二三五三  
浜松市役所公園緑地部公園建設課  
協会では「しづおか国際園芸博覧会」の開催でもあるこの行事に積極的に参加・協力することとし、現在、西部支部で参加事業内容を詰めております。

開催当日、会員はもとより関係者多数の参加をお待ちしております。

ネイションズ・イン・ブルームは、花と緑の国際コンペティションです。趣旨は、地球上を花と緑で飾り、環境問題の改善を図ろうというものです。二〇〇〇年二月、世界二五か国、三三都市が浜松市で開催される最終審査会においてプレゼンテーション(発表)を行い、都市規模別に表彰が行われます。

◆ガーデニング・フェスティバル

○期間／2月11日(金)～13日(日)

○会場／展示イベントホール

○内容／楽しいガーデニング教室、モデル庭園、ガーデニング・ショップ

○協力／FPIRA2004緑化推進協議会  
◆参加都市パネル展示コーナー

○期間／2月10日(木)～14日(月)

○会場／コンクレッセント13会議室

○内容／参加都市を写真パネルにより紹介



# 駿府公園「日本庭園」の 石組み見学会を開催

静岡市内の協会会員の一部で組織している静岡市造園緑化事業協同組合(飯田正徳理事長)で受注している、静岡市発注の日本庭園築庭工事の石組みが佳境に入っている。

この工事は、近年にない、また、近い将来もないであろうと予想される大規模な日本庭園の築庭で、百トンクレーン、五

十トンクレーンを使っての石組みが行われている。

最近河川工事、治山工事、木路整備などさまざまな工事現場で、多自然形工法と称して自然が豊になるよう、より自然に近づけた工法がとられている。しかし、現場ではまだ技術が確立していないのか、景観上、連續性が大事な堤防の姿が年度ごとに変わったり、単位面積当たりの使用した石の数がカウントできるようなくなり、せっかくブロックを自然石に変えたのにその良さが發揮されていない現場が見受けられる。

石組みも佳境に

得て、関係者の見学  
者も、受注者の見学

会を開催したもので、広報の期間が短かったにもかかわらず三十名の見学者があつた。

見学会は、十一月九日、十日

の二日わたって行い、現場見学に先立つて静岡市公園緑地課の岩野駿府公園整備室長から駿府公園整備計画の目的や事業経緯、大滝主査から日本庭園茶室の工事概要、また、

緑化協同組合の山本工事事務所長から石組み工事の概要などの説明を受けた後、現場を見つめられた。

庭園に使用する石は七三〇



垣根作りに出す受講生

トん及び、百トンクレーンのリース料は一日三十五万円、石の姿形を見て、てきぱきと据える場所・方向を決めないと一個あたりの据え付け単価は高いものになる。熟練者は、一日、百トン程度は据え付けると思うが、まだ二〇トン程度だという話であった。

これらの石組みは設計図にない感性が求められ、それが完成後に評価されることになる。やりなおしきかない真剣

そのような面に、

造園建設工事の石

組み技術が役立つ

のではないかと発注

者

は、受注者の見学

者

を得て、関係者の見学

者も、受注者の見学

</div



# 本年度も住宅展と環境フェアに出演

本年で35回目を迎えた「99住まい博 静岡県住宅展」と第2回目の「静岡県環境フェア'99」に出演し、両会場とも大勢の来場者でにぎわった。住宅展は9月2日(土)から25日(木)まで、いずれもツインメッセ静岡で開催された。



にぎわう造園緑化協会ブース

住宅展は南館で会期は四日間。出演はいつも中部支部で協力をいただいていますが、本年デーションやウッドコンボを配置した現代風のあかぬけしたガーデニング。コーナーでは出展ブースアトラクションとして植物名あてのクイズを行ない、正解者に協会発行の冊子をプレゼントするなどして終日、来客でにぎわった。期間中の住宅展の入場者は5万七千人であった。

一方、環境フェアは北館で開催され、最近の環境問題の高まりから、親子連れの来客でにぎわい、こちらの入場者は一日間で四万人。

環境フェアには静岡県造園施工管理技士会で出展し、出展にあたっては、静岡・清水の会員で作る静岡水草研究会の全面的な協力をいただいた。

出演内容は、湿生・水生植物の根の形態がわかるよう、展示し、植物による水質浄化機能のクイズも行った。来客はビ

**(住宅展)**  
住宅展は南館で会期は四日間。出演はいつも中部支部で協力をいただいていますが、本年

は(株)落合造園に登場いたしました。  
出展内容はしゃれたハイバーテーションやウッドコンボを配

**(環境フェア)**  
一方、環境フェアは北館で開催され、最近の環境問題の高まりから、親子連れの来客でにぎわい、こちらの入場者は一日間で四万人。

環境フェアには静岡県造園施工管理技士会で出展し、出展にあたっては、静岡・清水の会員で作る静岡水草研究会の全面的な協力をいただいた。

一方、環境フェアの初日、午後一時から造園施工管理技士会会員の静鉄緑化上木株の安本昌弘さんとアシスタントとして同社の飯塚夕子さんに登壇頼つて、屋内での講座ということで今

流行のココテナガーデン。先着五十名に材料セットが配布さ



水性植物に見入る子供たち



真剣に取り組む受講生



熱演の飯塚夕子さん

れ、植物名やその取り扱い、配植について説明しながら制限時間の三〇分でみごとに完成。昨年に続いて二回目とあって講師ぶりも堂に入つたものであった。

# 静岡県教職員生活協同組合との特約店契約成立

かねてから進めていた静岡

に期待がかかるています。

教職員生活協同組合ではす

でに全会員に組合の広報紙で

P.R.が進んでいます。かつての

ようなマイホーム建設ラッシュ

はないと思いますが、会社近

郊の学校訪問等営業活動を展

開して下さい。その際「指定店

の証」を提示して欲しいとのこ

とです。尚、名札を希望の方は、

教職員生協、指定店担当・村松

氏(電話○五四一-二八一-二

一四〇)までご連絡下さい。

この契約は昨年七月希望の  
無無をとて、希望した会員六  
六社と「造園事業に関する基  
本契約書」と覚え書きを取り  
交わし、写真のような「指定店  
の証」が交付されています。

組合員へのP.R.は生活協同  
組合と特約店で行うこととな  
っているので会員の営業活動

静岡県教職員生活協同組合  
財团法人 静岡県教職員互助組合

## 指定店の証

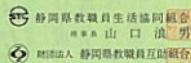
商店名

住 所

代表者

指定期間 平成11年度(平成10.12.1 ~ 12.3.31)

上記の商店は、静岡県教職員生活協同組合及び静岡県教職員互助組合の承認を受けた指定店であることを証明します。



指定店を証明する証紙

静岡農業高等学校

望月麻以(木下造園株)

学校と違って今までにはで  
きなかった体験ができました。

現場実習では時間を持たない  
というだけでも会社の方たち  
に迷惑がかかると思い朝から

西野造園外十三社で実習を行  
ったが三十二名のうち十二名  
が女子生徒で、あらゆる分野  
への女性進出が進むなかで造  
園業界も例外ではなさそう。

一方、磐田農業高等学校は  
九月十六日(二三日までの五  
日間)、「株」庭仁外七社で実習  
を行った。  
生徒からの実習報告書が寄  
せられているのでその一部を  
掲載します。

一日ごとに実習内容が  
違うので短い期間でたく  
さんの事ができて造園の  
むずかしさを改めて知り  
ました。そして、周りの方  
たちは一言一言に重みが  
あり感動しました。特に

奥さんからは実習の時  
はないけれど実習の最後  
の日に、帰るまでが仕事だ  
よと言われた時は、うつ  
しくて現場実習をやつ  
よかったと心から思えまし

# 農業高等学校生徒の 企業内実習生の受入れ

磐田農業高等学校  
長谷川琴(有市川造園)

た。事務所の皆さん、ありがとうございました。

二日目ということで、朝から  
体が疲れていました。  
社員の人達となれてきたの  
で、仕事の方もやりやすかった  
です。昨日よりは余り緊張は  
しませんでした。午前中は伊  
場遺跡の草刈りをしました。

草刈機をまだ使ったことがな  
いので、使い方を教わりまし  
た。初めて使ったので、あまり  
上手に出来ませんでした。コン  
クリートにあたってしまい、火  
花が出了で怖かったです。な  
れてくると上手にできるよう



実習に取り組む女生徒





# 園芸博覧会場整備スタート

## 安全祈願祭 まず造成と植栽

浜松・村櫛



二〇〇四年（平成十六年）年に浜名湖畔で開く「すおか国際園芸博覧会」バシフイックフローラ2004の会場基盤整備工事の安全祈願祭が浜松市村櫛町で行われた。浜松市役所の会場基盤整備委員会の安全祈願祭が二十九日、浜松市役所で行われ、園芸博覧会に向かって本格的な事がスタートした。

基礎整備は約五千六むの

会場の造成工事で、植栽を行なう。工期は春度まで。

造成工事では六万平方メートルの盛り土を搬入し、堤間に

植栽は防風林の植え付けなど、会場の環境を整える。基礎整備の後、二〇〇三年（平成十五年末ま

に浜名湖畔や庭園造成、パビリオンなどを設置する。

安全祈願祭は「すおか国際園芸博覧会建設工事協議会」（代表・須山建蔵）が主催した。

石川嘉延知事が「長い間頑張った工

事の無事に頑張った」と述べた。

北脇謙之浜松市長、鈴木尚

議長会副議長をはじめ行

政、市出席、建設関係者約

二百人出席。神奈川県、

川知事がまことに、

北陸道

川知事が